



2009/08/01

鳥との出会い／コアカゲラ

彼女との出会いは、長い年月が懸かりました。まず、最初のすれ違いは、14、5年前苫小牧の北大演習林の事です。6人で初めての北海道探鳥旅行で、あー「コアカゲラ」友達の声。何処、何処と見るが双眼鏡にはぜんぜん入りません、あせるが時間が過ぎるだけ、なさけない、彼女は過ぎ去って行く。それから、北海道は、私の探鳥旅行のメインになり数える事なく続けています。でも、会えないのです。コアカゲラだけの旅行もしました。場所は、帯広緑ヶ丘公園、確かに毎年ではなく繁殖しているのを確認しました。地元の人に教えてもらいましたが、営巣に使用した桜の枯れ木に可愛らしい円筒の穴を掘っていました。コゲラの巣より若干大きいかなといったところです。それでは、来年に来ましようと地元の人とわかれ、翌年の5月の始め、1泊2日の旅。帯広緑ヶ丘公園に到着し、去年の地元の人と会うと何と今年は、見ていませんの返事。でも、未練たらしく2日緑ヶ丘公園を隅から隅迄歩き無念さを噛みしめました。何とついてない事が、でもこんな事もあるよ、これが鳥屋さんの楽しい処と慰めて緑ヶ丘公園を後にしました。

さらに数年過ぎました。何と息子が可愛い孫をつれて札幌に転勤です。可愛い孫まで見放されたのかと思いましたが、それから、孫に会いに行く日々が続きます。札幌での友人に色々な鳥たちにと出会いがありました。でも、コアカゲラだけは、出会いません。友人に近郊のコアカゲラが繁殖した木を2箇所ほど見せてもらいましたが、彼女はいません。沈んでいると、インターネットで検索すると、また帯広緑ヶ丘公園に見られているではないですか。よし行こうと決心して翌年にと。翌年5月の連休に孫に会いに行きます。只私よりか趣味が孫と言った連れ合いが一緒です。それですと交通費が無料と言った特権付なんです。札幌に到着するとJRの時刻表を調べ帯広へといきました。朝5時半の出発です、10時ごろ帯広緑ヶ丘公園に到着、インターネットで検索した100年記念館の学芸委員の人を訪ねました。その人は、快く教えてくれました。来ていますよ朝の探鳥会であずま屋の所でみました、大丈夫ですと。はやる心を抑えいざ出陣といった所です。探鳥では、珍しいのですが今回は私単独で、不利な点は目が一つです。

何回も来ているので、場所も分かります、あずま屋から探し続けること1時間、会えません。しばらく休憩です。考えました、あずま屋付近で見られていると言う事は、彼女達は縄張りを巡回しているはず、追っかけるよりは待つ事の方が効率が良いのではと、あずま屋で待機することしました。20分、目の前を通過したのです。目の前を、5メートル先の小枝に伝い飛び、カメラを持つ手が振るえました。バシヤ、バシヤ最初はオス、しばらくしてからメス、番です。なんと幸福な瞬間、2分ぐらいありましたか、もっとかな、終わりました、彼女に会えたのです。万歳と吠えました。この瞬間が有るから辞められません。学芸員さんに報告しに行きましたら、私の顔が幸福にかがやいていたのでしょ、喜んでくれました。

鳥と出会った人：二河 正